

**フブ・服部の中国通信****ついにきたか！**

先日、AG-98の丁場主より各工場に対してばら撒かれた半製品の値上げ通知を入手しました。色々細かい事が書かれていましたが、簡単に要約をすると「8月15日からAG-98の半製品代を2割程度値上げします。長物6尺以上、4尺角以上の天板材にはさらに更にもう一段割増しをつけます。品質基準も山側で取り決めた線までは許容範囲とします」というなんとも強気な内容です。

この問題、値上げのみにとどまらず、品質面にもかなり大きな影響を与えそうです。山側の言う品質基準で例えば1cm丸までの玉、カネ手1分の狂いまでは許容範囲という風になっています。地域によっては通らないかも・・・と、今から冷や汗をかく内容で工場も戦々恐々のようです。

一度はこのような強気な商売をしてみたい気もしますが、山主の強気の原因は丁場の独占にあります。山側で産出量をコントロールし、傘下の工場で捌ける量のみを出荷する。需要のある石なので各社その工場に発注せざるを得ず、かなりの強気が通るようになります。そこから今回の「売りますよ、でも値段と基準は言う事聞いて下さいね」が来るわけです。お見事、と言いたくなる販売戦略で、「壟断」という難しい言葉を思い出させてくれました。

とは言えさすがにこれだけの大幅値上げ、手をこまねいて見ているわけにもいかないので弊社としてもささやかな抵抗を試みております。これから育てていかねばならない石ですが、価格、石目のバランスを考慮すればAG-98に対抗しうる石を数種用意していますので、詳しくは営業員までお問い合わせ下さい。

**江西省丁場訪問**

延び延びになっておりましたが、5月に江西省の丁場を訪問した際の報告です。江西省AG-98、D118等の呼び名がある石で、当時からAG-98の値段が上がる上だと脅されての訪問でしたが、掘り口の状態はととても良いです。



かなり大きな石が出ており、石質も原石を見るに大きな問題なし。丁場にオーダーを出しさえすれば12尺長でも5尺超角でも取れます。値段もAG-98の値上げ前よりもお安くできるかと思えます。

ただ、江西省の石は以前に錆びたことがあり、現状100%その懸念を払拭できているわけではありません。山主曰くは福建の工場の中には日本向けでAG-98にさしてこだわりのないお客様に「今のAG-98はこんなものです」と言って10年以上販売している、と怖い事を言っていました、錆びのクレームは上がっていないようです。弊社でも現在塩水につけて実験中です。

## 江西省の丁場にて



しなるハンマーを正確に杭に打ち付けていきます。このハンマー結構重いのですが…ゴルフをさせたらさぞかっ飛ばす事でしょう。と思った一幕でした。

## 全然関係ありませんが・・・



中国のインターネットで話題になっている画像です。アモイ航空のキャビンアテンダント2人が制服を着たまま「正点(定刻の意)」と書かれたパネルに向かって拝んでいると写真です。中国の航空事情はというと上海と北京が「定刻に飛ばない空港」ワースト1、2を独占するなど遅延や運行キャンセルが頻発、たびたび乗客とトラブルになっているのだとか・・・

やっぱりトラブルになってるんですね(苦笑)

どうか盆前施工の製品が納期通り収まりますように・・・(合掌)。  
それでは今回はこのあたりにさせていただきます。お付き合いありがとうございました。